

第1学年 音楽科学習指導案

学 級 1年B組(男子13名、女子11名、計24名)
指導者 教諭 齋藤 ルミ子

- 1 題材名 「歌曲の表現の豊かさを味わおう」(3時間扱い)
教材名 歌曲「魔王」(ゲーテ作詞 シューベルト作曲)

2 題材について

(1) 題材観

本題材は、学習指導要領のB鑑賞のアを柱とし、旋律の変化や、声の音色の変化、ピアノ伴奏の効果などの音楽を形づくっている要素がどのようになっているのかを聴き、それらの働きが生み出す曲想の変化を感じ取る力を育成できると考える。

そのため、本題材では、次の2点を重点に指導したいと考える。①音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを感じ取り、音楽的根拠を持って自らの言葉で表現できる力を育てる。②授業の中に意図的に交流の場面を設定し、音楽の要素と曲想との関わりについて感じたことや考えたことを互いに聞き合う活動を充実させ、学び合う力を育てる。

これらの学習を通して、他者の感じ方や解釈も参考にしながら学び合いを深め、一人ひとりが音楽に対する興味・関心をさらに深めることで、本校の研究テーマにある「自己肯定感を高める学習指導の工夫」に迫ることができるであろうと考え、本題材を設定した。

よって、「じっくりと聞き合う場面」「深く感じて、しっかりと考える場面」「確かな根拠を持って思いを表現できる場面」の設定を工夫することで、それぞれの場面を関連させることにより、確かな学力の育成につなげていきたい。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、明るく素直で、学級全体がよくまとまっている。1学期には、ヴィヴァルディ作曲「和声と創意の試み」第1集より「四季」から「春」の鑑賞を行った。この題材は、楽曲によって表現されている情景やその移り変わりを想像しやすい。よって、楽曲が表している情景を、楽器の音色やリズム、強弱などの要素やその変化と結びつけてイメージする学習を行った。この学習により、音楽を形づくっている要素を意識して用いることで、楽曲の特徴を明らかにし、よさを感じ取ることができるように指導を行ってきた。

鑑賞についての生徒にアンケートをした結果は以下の通りである。

1 鑑賞の授業は好きですか	好き 16人	まあまあ好き 8人	きらい 0人
2 理由はどうしてですか。(好き、まあまあ好き)	・日本や世界の色々な国の音楽が聴けて楽しいから。 ・おもしろい場面や悲しい場面など、その物語に入り込めるから。 ・感動できる曲や、強弱が激しい曲など色々鑑賞できるから。 ・普段、家や自分ではなかなか見たり聴いたりしないものを鑑賞できるから。 ・自分の気に入った曲が見つかるから。・鑑賞していると気分がよくなるから。 ・色々な音楽が聴けて、その音楽が伝えたいことを考えるのがとても面白いから。 ・音楽を深く知ることが出来るから。作った人の感情が伝わってくるから。		
3 家で音楽鑑賞をしますか	はい 6人	ときどき5人	いいえ13人
4 どんな音楽を聴きますか(はい、ときどき)	・Jポップ ・Kポップ ・洋楽 ・ボーカロイド ・アニメソング ・吹奏楽曲		

上の結果から、本学級の生徒は、意欲的に鑑賞に取り組める生徒が多い。しかし、普段の生活の中に自ら進んで音楽に親しむ生徒が少ないことがわかった。また、好んで鑑賞するジャンルに偏りも見られる。よって、今後は、さまざまなジャンルの音楽のよさを伝え、やがては生涯にわたって生活の中に音楽を取り入れ、豊かな生き方を実現できる生徒の育成へとつなげていきたい。

(3) 指導観

ゲーテ作詞 シューベルト作曲「魔王」は、歌い手1人が4役を歌い分けて、ピアノ伴奏が情景描写を巧みにしている曲である。詩の内容を想像しながら音楽の要素を感じ取ることができる題材である。本題材で、楽曲の特徴として学習させたい事項を次の3点と明確化し、指導を行いたい。

- ①登場人物「子」の音は、曲の進行と共に、高くなり、緊張感を高める効果がある。
- ②登場人物「魔王」の旋律や強弱、声の音色と詩の内容（優しく子を誘う場面から本性を出す場面の変化）の関わりについて。
- ③ピアノ伴奏の役割と効果について（馬の駆ける音や魔王の不気味さ）

さらに、本題材である「魔王」の学習は、鑑賞という受け身になりがちな分野であるが、生徒一人ひとりが自分の感じたことを自らの言葉で表現し、自由に発表し合う中で、お互いの感じ方や解釈を参考に学び合いを深める学習を中心に行うため、研究テーマである「交流を位置づけた授業の展開」に適した教材であると考えられる。よって、生徒一人ひとりが、楽曲をより深く聴くことで、音楽の良さや楽しさを感じる力を身につけさせたい。

(4) 自己肯定感を持たせるための交流タイムの位置づけ

本時における交流学習は、発表を通して、音楽の要素と曲想について聴取・感受したことを「聞き合う」、「学び合う」活動により、他者の感じ方や解釈も参考にしながら、より深く鑑賞できるようにすることで、自己肯定感を持たせたい。

3 題材の目標

- (1) 「魔王」の音楽を形づくっている旋律の変化、声の音色の変化、ピアノ伴奏の効果と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組むことができる。【音楽への関心・意欲・態度】
- (2) 「魔王」の音楽を形づくっている旋律の変化、声の音色の変化、ピアノ伴奏と曲想との関わりを感じ取って、解釈し、価値を考える中で、自分の言葉で表現し、音楽の良さを味わって聴くことができる。【鑑賞の能力】

4 指導計画

学習活動(全3時間)	【交流方法及び評価方法等】
(1) ①登場人物の表現の違いを聴き取る。 ②登場人物の行動や心情の変化を感じ取る ・1学期に学習した音楽の諸要素（旋律・音色など）を手がかりに、どの要素を活用して工夫しているかを感じ取りワークシートにまとめる。	登場人物の行動や心情の変化を、音楽で表現するために、作曲家がどのように工夫したかを、これまでの学習を手がかりに個人で考える。 ○観察、プリント
(2) ①前時の授業でまとめた内容をグループ内で交流し合い、まとめる。 ②全体でグループごとに発表し、それぞれの解釈や価値について交流し合う。 ③本時の学習のまとめと次時の予告 (本時)	小グループに分かれ、互いの考えを発表し合い、まとめたことを、学級全体で発表する。 ○観察、プリント
(3) ①前時の復習 ②登場人物「魔王」、「ピアノ伴奏の効果」について作曲者が工夫した点について考える。 ③「魔王」の魅力についてこれまでの学習を踏まえて、あなたの考えを述べよ。 ④次時の予告	前時同様に、登場人物の行動や心情の変化を作曲者がどのように工夫したかを考え、グループで話し合い、まとめたことを、学級全体で発表する。 ○観察、プリント

5 本時の学習

(1) 目標と交流

【目標】	【交流の方法等】
「魔王」の登場人物「子」について、作曲者は、音楽的にどのような工夫をしたのだろうか、考えることができる。	小グループ内での発表→学級全体での発表

(2) 展開

段階	学習活動・学習内容	・指導上の留意点 ◎評価規準
導入	1. 前時の学習の復習 ・「魔王」を鑑賞する 2. 本時の学習課題 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「魔王」の登場人物「子」の「行動」や「気持ちの変化」を、作曲者は、音楽的にどのような工夫をしたのだろうか、考えよう。 </div>	・作曲者がさまざまな音楽的な工夫をしていることを押さえる。 ◎音楽への関心・意欲・態度 ・魔王の音楽を形づくっている旋律の変化と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
展	3 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 交流1 小グループに分かれ、互いの考えを発表し合う【高め合う交流】 </div> ・作曲者の工夫についてグループ内で考えを発表し合う。 4.	・自分と同じ考え、異なる考えを認識させる。 ◎自らの解釈や価値について、言葉で説明することができる。【鑑賞の能力】 ◎仲間の解釈や価値について意欲的に聞き、認め、よさを発見しようとしている。【鑑賞の能力】
	5. 本時の学習のまとめ 必ず指導のポイントとしておさえない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 子どもの部分の音は、曲が進行し後半に従って高くなり、緊張感を高めていく効果がある。 </div> 6. 鑑賞 学習したことを踏まえて、鑑賞する。	・楽譜を活用し、作曲者が工夫した点をしっかり確認する。 ◎音楽を形づくっている旋律の変化と曲想との関わりをしっかりと感じ取ることができる。【鑑賞の能力】
終末	7. 学習の振り返りと次時の予告 ・「魔王」鑑賞 ・交流学习を通して感じたことや学んだことについてプリントにまとめる。 ・まとめたことを発表する（数名）	◎「魔王」の音楽を形づくっている旋律の変化と曲想との関わりを感じ取って、解釈し、価値を考える中で、自分の言葉で表現し、音楽のよさを味わって聴くことができる。【鑑賞の能力】

(3) 本時の評価規準

観 点	評 価 規 準	見取りの方法
音楽への関心・意欲・態度	「魔王」の音楽を形づくっている旋律の変化と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	プリント 活動観察 発表
鑑賞の能力	「魔王」の音楽を形づくっている旋律の変化と曲想との関わりを感じ取って、解釈し、価値を考える中で、自分の言葉で表現し、音楽のよさを味わって聴くことができる。	プリント 活動観察 発表